

八雲町熊石地域地熱開発理解促進事業 ～熊石地域での地熱開発の可能性を！～

東日本大震災後、日本国内では再生可能エネルギーが注目され、太陽光や風力、地熱や木質バイオマスなど全国各地で発電事業が進められています。

熊石地域では、国からの100%の補助金を受け、平成26年度から地熱開発（発電）の可能性や地域的なメリット、温熱排水の二次利用の検討や地熱に関する講演会、勉強会、先進地視察などを行っています。

今回は前号に引き続き、平成27年度の事業についてご紹介いたします。

【平成27年度の取組みについて】

今年度の事業については、昨年の取組みに引き続き、今後の熊石地域においてバイナリー発電事業の可能性や温熱排水の2次利用も含めて、更に検討を進めるため、経済産業省の「地熱開発理解促進関連事業支援補助金」を活用し、協議会の開催や先進地視察を行っております。

【7月に「八雲町熊石地域地熱開発利活用検討協議会」を組織しました】

前年の理解促進勉強会構成員のうちから地域産業の後継者や、講演の講師をしていただいた有識者の方々にも加わっていただき、約20名で組織しました。

【平成27年度の活動状況は】

協議会を7月からスタートし、12月に先進地視察の報告会も含め、バイナリー発電のスケール対策や熊石の泉質について協議しました。

先進地の視察で、長崎県雲仙市と兵庫県新温泉町の取組みについて学ぶことができました。雲仙市小浜温泉では、バイナリー発電事業で、発電効率の低下などの原因となるスケール（湯花）対策の実証実験と、温熱を利用し海水から製塩を行っている様子を視察しました。兵庫県新温泉町では、災害時の防災拠点となる福祉避難所でのバイナリー発電と自立型の発電設備を導入することで、災害による停電時も発電が可能となっている様子を視察しました。



長崎県雲仙市での視察の様子



配管に付着したスケール（湯花）



福祉避難所での自立型発電設備

地域住民のみなさんに分かりやすく地熱についての講演会を開催します。

八雲町熊石地域地熱開発利活用検討協議会では下記の日程で、熊石地域のみなさんを対象に、日本の地熱発電の現状、熊石地域の地熱開発（発電）の可能性や、現在の取組み等について講演会を開催します。

また、今年度実施した先進地視察の報告会も行いますので、お気軽にご参加ください。

【地熱開発講演会】

日程 平成28年1月28日（木）午後6時30分から

場所 熊石総合支所 2階 会議室

講師 北海道立総合研究機構

地質研究所 元所長 藤本和徳氏

お問い合わせ

八雲町熊石地域地熱開発利活用検討協議会

（事務局 産業課 ☎2-3111）

